

小岩小学校 国語科 5年生

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
4月	<p>ひみつの言葉を引き出そう 1時間（話・聞①）</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア）</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア）</p> <p>○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。（思・判・表A(1)エ）</p> <p>■友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話す。</p>	1	<p>1 扉の詩、目次、P9「国語の学びを見わたそう」を見て、学習の進め方を確かめたり、見通しをもったりする。</p> <p>2 P17を読み、5年生の国語学習での目標や楽しみなことを書く。</p> <p>3 P18-19を読み、活動のしかたを確かめる。</p> <p>4 気持ちや様子を表す言葉を、一人一つずつカードに書く。他の人に言葉が見えないように、グループの中で交換する。</p> <p>5 一人がカードを持ち、グループで2分間話す。 ・カードを持たないメンバーは、どうすればカードを持つ人が「ひみつの言葉」を口にするかを考えながら話す。</p> <p>6 カードに書かれている言葉を確認、会話を振り返る。</p> <p>7 カードを持つ人を交代して、再度行う。</p> <p>8 話してみて感じたことを振り返る。</p>	<p>【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア）</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。（A(1)ア）</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。（A(1)エ）</p> <p>【態】進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。</p>
4月	<p>かんがえるのって おもしろい 1時間（読①）</p> <p>◎詩を音読することができる。（知・技(1)ケ）</p> <p>○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ）</p> <p>■音読して、想像したことを伝え合う。</p>	1	<p>1 詩を声に出して読んだり、友達の音読を聞いたりして、描かれていることを想像する。 ・「どこかとおく」「しらないけしき」などの言葉が表していることを考える。</p> <p>2 思い浮かべた様子や自分の経験と重ねて感じたことをノートに書く。</p> <p>3 ノートに書いたことを基にして、詩を読んで感じたことを伝え合う。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】詩を音読している。（(1)ケ）</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ）</p> <p>【態】進んで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。</p>
4月	<p>名前を使って、自己しょうかい 続けてみよう 1時間（書①）</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア）</p> <p>○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。（知・技(1)カ）</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア）</p> <p>○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)カ）</p> <p>■自分を紹介する文章を書く。</p>	1	<p>1 P23の作例を基に、名前を使って自分を紹介する文章の書き方を確かめる。</p> <p>2 自分を紹介する文章を書く。 ・名前の文字から始まる言葉を思い浮かべ、自分の書きたいことに合ったものを選ぶ。 ・前後の文とのつながりを考えながら、文章を書く。</p> <p>3 書いた文章をグループで読み合い、感想を伝える。</p> <p>4 「いいな。」と思った作品を、クラス全体に紹介する。</p> <p>5 名前を使って自己紹介をしてみても気づいたことを振り返る。</p> <p>6 P24「続けてみよう」を読み、日々のことを記録することの大切さに気づき、ノートの書き方について学ぶ。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。（(1)ア）</p> <p>・文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。（(1)カ）</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア）</p> <p>・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)カ）</p> <p>【態】積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。</p>
4月	<p>人物の心情や人物どうしの関わりをとらえ、印象に残ったことを伝え合おう</p> <p>銀色の裏地 5時間（読⑤）</p> <p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク）</p> <p>◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ）</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかた、</p>	1	<p>1 学習の見通しをもつ。 ・P25を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもと」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク）</p> <p>・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。（(2)イ）</p>
		2	<p>2 「理緒」の心情や、他の人物との関係を捉える。 ・P36「言葉に着目しよう」を参考に、「理緒」の心情や、他の人物との関わりが表れているところに線を引く。</p>	<p>【思・判・表】「読むこと」において、</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	<p>図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>■印象に残ったことを伝え合う。</p> <p>☆友情、信頼や相互理解に関わる題材(道徳)</p>	3 4 5	<p>・P37「関係を図に表す」を参考に、線を引いたところを使って、登場人物の関係を図に表す。</p> <p>3 登場人物の心情や人物どうしの関係が、どのように変化したのかについて想像する。</p> <p>・変化のきっかけになった出来事や言動について考える。</p> <p>・「理緒」から見た「高橋さん」の人物像について考える。</p> <p>・題名でもある「銀色の裏地」という言葉の意味について考える。</p> <p>4 P37「考えのまとめ方」を参考に、強く印象に残ったことをまとめる。</p> <p>・物語の中の印象的な表現や、自分の経験と重ねて感じたことから考える。</p> <p>5 考えたことを伝え合い、新たに考えたことや感じたことをノートに書く。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。</p> <p>・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。</p>	<p>登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>【態】粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。</p>
4月	<p>図書館を使いこなそう</p> <p>1時間(知・技①)</p> <p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)</p> <p>■本を探して、記録カードを書く。</p> <p>☆図書館で本を探す活動(図書館活用)</p>	1	<p>1 何かをさまざまな角度から調べるときに、どのように本を探しているかについて、経験を紹介し合う。</p> <p>2 図書館での本の探し方について理解する。</p> <p>・「日本十進分類法」について知る。</p> <p>・著作権の観点から、図書を活用する際の留意点を確かめる。</p> <p>3 図書館で、複数の棚から本を探す。</p> <p>・自分でテーマやキーワードを決めて探す。</p> <p>4 P41の記録カードの例を見て、読書記録のつけ方を知る。</p>	<p>【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ)</p> <p>【態】進んで読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。</p>
4月	<p>漢字の成り立ち</p> <p>2時間(知・技②)</p> <p>◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ)</p>	1 2	<p>1 漢字には、大きく分けて四つの成り立ちがあることを、例とともに確認する。</p> <p>2 P43の設問①に取り組む。</p> <p>・漢字辞典を使って、形声文字について確かめる。</p> <p>3 P43の設問②に取り組む。</p> <p>・漢字辞典を使って、漢字の成り立ちを確かめる。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ)</p> <p>【態】進んで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>
4月	<p>春の空</p> <p>1時間(書①)</p> <p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■春らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	1	<p>1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。</p> <p>2 「枕草子」やP45の春に関わる言葉、俳句を参考にし、春らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p> <p>【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
5月	<p>話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう</p> <p>きいて、きいて、きいてみよう 6時間(話・聞⑥)</p> <p>◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>■インタビューをし、報告する。 ☆インタビューを行い、報告する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆インタビューの録音・録画(ICT活用)</p>	1 2 3 4 5 6	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、どのような「きく」があるのかを出し合う。 「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 <p>2 インタビューの順番を決め、話題を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手との関わりを思い出しながら、きいてみたい話題を幾つか挙げる。 その人の人柄を引き出せそうな話題を考え、質問を挙げる。 <p>3 インタビューのためのメモを用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絞った話題について、質問に対する答えを予想し、インタビューのためのメモを書く。 <p>4 活動のしかたや気をつける点確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> P48-49を読み、きき手、話し手、記録者の役割やインタビューの具体的なやり取り、報告のしかたなどについて、全体で確認する。 <p>5 役割を交代しながらインタビューをする。</p> <p>6 記録したメモを基に報告の準備をする。</p> <p>7 記録者がインタビューの内容について報告を行い、報告を聞いて気づいたことを伝え合う。</p> <p>8 「きくこと」について考えたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割の違いによって、きき方がどのように違うのかについて話し合う。 <p>9 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。(1)イ) 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) <p>【態】 粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。</p>
5月 6月	<p>文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう</p> <p>見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果 7時間(知・技①、読⑥)</p> <p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)</p> <p>○文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>■考えたことを伝え合う。 ☆外国語や異文化への興味をもち、理解する態度を養う題材(外国語、道徳、総合的な学習の時間)</p>	1 2 3 4 5 6 7	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> P51を見て、文化や言葉ともの見方の関わりについて考える。 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 <p>2 「見立てる」を読み、事例や文章構成に着目して筆者の主張を見つけて、自分の考えを伝え合う。</p> <p>3 「言葉の意味が分かること」を読み、筆者の主張を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習のめあてを確かめる。 文章を「初め」「中」「終わり」に分けて、各段落の内容を捉え、文章構成と内容を確認する。 <p>4 文章の要旨を150字以内でまとめる。</p> <p>5 文章構成や事例の挙げ方、原因と結果の関係、事例と筆者の考えの結び付きなどを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> P63「原因と結果」、P60-61「言葉に着目しよう」を参考にする。 <p>6 筆者の考えや、事例の示し方に対する自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共感できる点や疑問に思う点に変化があったかを考える。 <p>7 自分の考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えに触れながら、文章から読み取れる筆者の考えに対する自分の考えを話す。 <p>8 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとと 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) <p>【態】 粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
			<p>もに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。</p> <p>・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。</p>	
6月	<p>敬語</p> <p>2時間(知・技②)</p> <p>◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ)</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材(道徳)</p>	1 2	<p>1 敬語について知る。</p> <p>・「問いをもとう」を基に、言葉遣いについて自分なりの考えとその理由をもつ。</p> <p>・丁寧語・尊敬語・謙譲語について理解し、ノートにまとめる。</p> <p>2 P65の設問1に取り組む。</p> <p>・どのような表現に変えるとよいかを考え、理由とともにノートに書いて、話し合う。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <p>・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア)</p> <p>・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1)キ)</p> <p>【態】 進んで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。</p>
6月	<p>表現を工夫して、俳句を作ろう</p> <p>日常を十七音で</p> <p>3時間(書③)</p> <p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク)</p> <p>◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>○俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けることができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■俳句を作る。</p>	1 2 3	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・P66の二つの俳句を読み、「問いをもとう」に沿って感想を話し合う。</p> <p>・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 俳句を作る材料を集める。</p> <p>・P67のメモの例を参考にして、生活の中で気づいたことや、驚いたこと、心が動いたことなどを短い文で書き留める。</p> <p>3 材料を基に、5・7・5の17音の形にする。</p> <p>4 P68を参考に、表現の工夫のしかたを確かめる。</p> <p>5 作った俳句の表現を工夫する。</p> <p>6 作った俳句を友達と読み合い、言葉や表現を工夫したところや、友達の俳句への感想を伝え合う。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けている。(1)ウ)</p> <p>・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【態】 粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。</p>
6月	<p>漢字の広場①</p> <p>1時間(書①)</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	1	<p>1 P70に提示された言葉を使いながら、図書館の人になったつもりで、本の場所や図書館の使い方などについて説明する文や文章を書く。</p> <p>2 書いた文や文章を読み返し、構成などを整える。</p> <p>3 書いた文や文章を読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。</p>	<p>【知・技】 第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【態】 進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
6月	<p>古典の世界(一)</p> <p>2時間(知・技②)</p> <p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ)</p> <p>■古文を音読する。</p> <p>☆我が国の伝統と文化を尊重する態度</p>	1 2	<p>1 古典の世界を想像して、関心をもつ。</p> <p>・P71の絵や文章から気づいたことを出し合う。</p> <p>2 二次元コードの音声参考に、四つの古典作品の冒頭を音読し、現代語訳や解説から内容の大体を知る。</p> <p>3 作品を読んで感じたことや考えたことなどをノートに書き、伝え合う。</p> <p>4 四つの作品を再度読んだり、子ども向けの古典作品集などを読んだりする。</p> <p>・「この本、読もう」で紹介されている本も参考にするとよい。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ)</p> <p>【態】 進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	を養う題材（道徳）			
6月	<p>【情報】 目的に応じて引用するとき 2時間（書②）</p> <p>◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)エ）</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ）</p> <p>■引用カードを書く。</p> <p>☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動（理科、社会、総合的な学習の時間）</p>	1 2	<p>1 P76 上段を見て、自分にも似た体験がないか想起して紹介し合い、目的に応じた引用の重要性について考えることを押さえる。</p> <p>2 P76 下段を読んで、情報を書き留めるときに気をつけることを確認する。</p> <p>3 P77の文章と「山下さんの引用カード」を読んで、気づいたことを話し合う。</p> <p>4 「山下さんの引用カード」を参考にして、「手洗いの際に、蛇口を閉めることの大切さを説明する文章を書く場合」という設定で、引用カードを書く。</p> <p>5 どのような引用カードを書いたのか、伝え合う。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・「いかそう」を基に、これからの生活にいかす視点をもつ。</p>	<p>【知・技】 情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。（(2)イ）</p> <p>【思・判・表】 「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)エ）</p> <p>【態】 進んで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。</p>
6月 7月	<p>伝えたいことを整理して、報告しよう</p> <p>みんなが使いやすいデザイン 8時間（書⑧）</p> <p>◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア）</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。（知・技(2)イ）</p> <p>■報告する文章を書く。</p> <p>☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材（道徳、総合的な学習の時間）</p> <p>☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動（理科、社会、総合的な学習の時間）</p> <p>☆インターネットによる情報収集（ICT活用）</p>	1 2 3 4 5 6 7 8	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・ユニバーサルデザインについて、知っていることを紹介し合う。</p> <p>・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 調べたいことを見つめる。</p> <p>・P79を参考にして、家や町の中にあるものから、誰もが使いやすいように工夫されているものを探す。</p> <p>・見つけたものから、特に調べたいものを選ぶ。</p> <p>3 調べ方を選んで取材し、集めた情報を整理する。</p> <p>・P80「さまざまな調べ方と特長」を参考に、適切な方法を選んで調べる。</p> <p>・P76「目的に応じて引用するとき」の学習を参考に、調べたことを記録する。</p> <p>・P80「さまざまな調べ方と特長」を参考にしながら、集めた情報を整理する方法について考える。</p> <p>4 報告する文章の構成を考える。</p> <p>・P82の作例や二次元コードから見られる作例（全文）を参考に、文章の構成を考える。</p> <p>5 報告する文章の下書きを書く。</p> <p>・小見出しを立てるなどして、まとまりが分かるように書く。</p> <p>・本などから引用する場合は、他と区別して書く。</p> <p>・まとめは、それまでに述べてきたことと対応させる。</p> <p>6 下書きを読み直して、清書する。</p> <p>7 書いた文章を読み合って感想を伝え合う。</p> <p>・どんなところがよかったか、そう感じた理由とともに、感想を伝え合う。</p> <p>8 学習を振り返る。</p> <p>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。</p>	<p>【知・技】 情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。（(2)イ）</p> <p>【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）</p> <p>【態】 粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。</p>
7月	<p>同じ読み方の漢字 2時間（知・技②）</p> <p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文</p>	1 2	<p>1 P84上段の問題に取り組み、同じ訓をもつ漢字でも、意味や使い方に違いがあることに気づく。</p> <p>2 P84の設問①②に取り組む。</p> <p>3 P85上段を読み、同じ音をもつ熟語でも、意味や使</p>	<p>【知・技】 第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)		い方に違いがあることに気づく。 4 P85の設問③④に取り組む。 5 学習を振り返る。	【態】進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。
7月	夏の夜 1時間(書①) ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	1	1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 2 「枕草子」やP87の夏に関わる言葉、俳句を参考にし、夏らしいものや様子を文章に書く。 3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア) 【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。
7月	本は友達 作家で広げるわたしたちの読書 モモ 5時間(読⑤) ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ■本の魅力を伝え合う。 ☆作家を意識して選んだ本を読む活動(図書館活用)	1 2 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・普段、どのように本を探しているかを想起する。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 自分の本の選び方について、友達と話す。 ・さまざまな観点があってよいが、作家に着目した発言が出るようにしたい。 3 「モモ」を読んで、感想を伝え合う。 4 これから読みたい作家を決めて、その作家の本を探して読む。 5 P91の作例を参考に「しょうかいカード」を書き、本を紹介し合う。 6 自分の選んだ作家や作品の魅力を紹介し合い、気づいたことを伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・「読書に親しむために」で、本の読み方を押さえる。	【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 【態】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。
9月	かぼちゃのつるが われは草なり 2時間(読②) ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ■考えたことを伝え合う。	1 2	1 二つの詩を音読する。 ・繰り返しの表現に着目しながら読む。 2 「かぼちゃのつるが」を読み、繰り返しの表現により、どのような様子が想像されるかについて、話し合う。 ・「はい上がり」「葉をひろげ」が、どう繰り返され、何を表しているかを考える。 3 「われは草なり」を読み、「われは草なり」とは、どのようなことを表しているかについて考える。 ・繰り返しの表現が、各連の中で、他の表現とどう結び付いているかについて話し合う。 4 二つの詩を読んで、繰り返しの表現があることの効果について、考えをまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) 【態】進んで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
9月	どちらを選びますか 2時間(話・聞②) ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	1 2	1 P104-105を読み、学習の進め方を確認する。 2 海を薦めるチーム(二人)と、山を薦めるチーム(二人)に分かれて、チームごとに薦める理由を考えてノートに書き出す。 3 話し合いを行う。	【知・技】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。(1)オ) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	<p>◎互いの立場や意図を明確にしなが 計画的に話し合い、考えを広げたり まとめたりすることができる。(思・ 判・表A(1)オ)</p> <p>■立場に分かれて話し合う。 ☆適切な資料を用意し、相手が納得す る説明をする活動(特別活動)</p>		<p>・それぞれのチームが意見を言った後、質疑応答 をして、互いの考えの違いをはっきりさせる。 ・各チームは、質疑応答を踏まえて考えを整理 し、改めて意見を述べる。 ・先生役は、説得力があったチームを判定する。 4 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で身につけた力を押さえる。</p>	<p>明確にしなが 計画的に話し 合い、考えを 広げたりまと めたりして いる。(A(1)オ)</p> <p>【態】積極的 に互いの立場 を明確にし て、これまで の学習をいか して立場に分 かれて話し合 おうとして いる。</p>
9月	<p>新聞を読もう 2時間(読②)</p> <p>◎目的に応じて、文章と図表などを結 び付けるなどして必要な情報を見つ けたり、論の進め方について考えたり することができる。(思・判・表C(1) ウ)</p> <p>○文章の構成や、文章の種類とその特 徴について理解することができる。 (知・技(1)カ)</p> <p>○事実と感想、意見などとの関係を叙 述を基に押さえ、文章全体の構成を 捉えて要旨を把握することができ る。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>■新聞記事を読む。 ☆新聞記事等による情報収集(社会、 総合的な学習の時間)</p>	1	<p>1 新聞の1面の構成について確認する。 ・実際の新聞を用意し、構成を確認しながら、気 づいたことや疑問点などをノートに書く。 ・新聞のそれぞれの面には、どのような分野の記 事が書かれているかを確認する。 2 P108-109の二つの記事を読み、どんな違いがある か、どうして違うのかを考え、ノートに書く。 3 二つの記事を比べて考えたことについて話し合 う。</p>	<p>【知・技】文章の構成や、文章の種類 とその特徴について理解してい る。(1)カ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、事実と感 想、意見などとの関係を叙述を 基に押さえ、文章全体の構成を 捉えて要旨を把握している。 (C(1)ア)</p> <p>・「読むこと」において、目的に応 じて、文章と図表などを結び付 けるなどして必要な情報を見つ けたり、論の進め方について考 えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>【態】進んで必要な情報を見つ けたり、論 の進め方につ いて考えたり し、学習課題 に沿って新聞 記事を読もう としている。</p>
9月	<p>文章に説得力をもたせるには 2時間(書②)</p> <p>◎筋道の通った文章となるように、文 章全体の構成や展開を考えることが できる。(思・判・表B(1)イ)</p> <p>○文の中での語句の係り方や語順、文 と文との接続の関係、話や文章の構 成や展開、話や文章の種類とその特 徴について理解することができる。 (知・技(1)カ)</p> <p>■考えたことを伝え合う。</p>	1	<p>1 意見文における「主張」と「根拠」について知る。 2 P110-111の意見文の例を読み、「主張」と「根拠」 がどのように書かれているかを確かめる。 ・「予想される反論」と「反論に対する考え」があ るのとないのとは、主張の伝わり方がどのよ うに変わるかを考える。 ・「まとめ」で「主張」と同じ内容が繰り返されて いることの効果を考える。</p>	<p>【知・技】文の中での語句の係り方 や語順、文と 文との接続の 関係、話や文 章の構成や展 開、話や文章 の種類とその 特徴について 理解している。 (1)カ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」にお いて、筋道の 通った文章と なるように、 文章全体の構 成や展開を考 えている。(B (1)イ)</p> <p>【態】積極的 に筋道の通っ た文章となる ように文章全 体の構成や展 開を考え、学 習の見通しを もって考えた ことを伝え合 おうとして いる。</p>
9月	<p>漢字の広場② 1時間(書①)</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字 を書き、文や文章の中で使うことが できる。(知・技(1)エ)</p> <p>・文章全体の構成や書き表し方などに 着目して、文や文章を整えることが できる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、絵を基にし て文を書く。</p>	1	<p>1 P112に提示された言葉を使いながら、作家になっ たつもりで、登山家の半生を文章に書く。 2 書いた文章を読み返し、構成などを整える。 3 書いた文章を友達と読み合い、交流するととも に、示された漢字について確認する。</p>	<p>【知・技】第4学年までに配当され ている漢字を 書き、文や文 章の中で使っ ている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」にお いて、文章全 体の構成や書 き表し方な どに着目し て、文や文章 を整えてい る。(B(1)オ)</p> <p>【態】進んで第4学年までに配当 されている漢 字を書き、こ れまでの学習 をいかして文 を書くように している。</p>
9月 と 10月	<p>物語の全体像を想像し、考えたことを伝え合う</p> <p>たずねびと 6時間(読⑥)</p> <p>◎人物像や物語などの全体像を具体的 に想像したり、表現の効果を考えたり することができる。(思・判・表C(1)</p>	1	<p>1 学習の見通しをもつ。 ・P113を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもと」「目標」を基に 学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p>	<p>【知・技】比喩や反復などの表現の工 夫に気づいて いる。(知・技 (1)ク)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」にお いて、人物像 や物語などの 全体像を具</p>
		2	<p>2 本文を読んで、「綾」の心情の変化を捉える。</p>	

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	エ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ■考えたことを伝え合う。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳) ☆紹介された本を選んで読む活動(図書館活用)	3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの場面で「綾」が出会ったものや、登場人物を確かめる。 P128「心情の変化をとらえる」を参考に、行動や会話、心情や情景を表す表現に着目して、「綾」の心情の変化を捉える。 3 P129「言葉に着目しよう」を参考にし、物語の全体像を想像する。 ・「きれいな川」や「ただの名前」が、「綾」にとってどんなものになったかを考える。 ・原爆や戦争に対する「綾」の見方がどう変わったかを考える。 ・「綾」が訪ねた場所や出会った人が、それぞれ「綾」に何を伝える役割をしていたかについて考える。 4 自分の思いや考えにどのような変化があったかについて、ノートにまとめる。 ・P129「考えをまとめる例」を参考にする。 5 まとめたことを友達と伝え合う。 6 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 ・単元で身につけた力をいかして、P260「チェロの木」を読むことを確かめる。 ・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。 	<p>体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p> <p>【態】粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
10月	漢字の広場③ 1時間(書①) ◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。	1	<p>1 P131に提示された言葉を使いながら、各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように文章を書く。</p> <p>2 書いた文章を読み返し、構成などを整える。</p> <p>3 書いた文章を友達と読み合い、交流するとともに、示された漢字について確認する。</p>	<p>【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
10月	方言と共通語 2時間(知・技②) ◎共通語と方言との違いを理解することができる。(知・技(3)ウ)	1 2	<p>1 方言と共通語について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問いをもとう」を基に、言葉の中には方言があることに気づく。 ・「方言分布図」を参照し、自分の住んでいる地方で、塩の味を表す言葉としてどう言うか、話し合う。 <p>2 方言と共通語の特徴と必要性を確かめる。</p> <p>3 設問に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域の方言を知る。 ・「たずねびと」の方言の効果について話し合う。 ・方言を使った場合と共通語を使った場合のそれぞれのよさを考える。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いかそう」を読み、これからの生活にいかす視点をもつ。 	<p>【知・技】共通語と方言との違いを理解している。(3)ウ)</p> <p>【態】進んで方言と共通語の違いに関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>
10月	秋の夕 1時間(書①) ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を	1	<p>1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。</p> <p>2 「枕草子」やP135の秋に関わる言葉、俳句を参考にし、秋らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	<p>意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■秋らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>			<p>親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。(B(1)ア)</p> <p>【態】積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>
10月	<p>たがいの立場を明確にして、話し合おう</p> <p>よりよい学校生活のために</p> <p>【コラム】意見が対立したときには6時間(話・聞⑥)</p> <p>◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。</p> <p>☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間)</p> <p>☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動(ICT活用)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中でこうなるといいと思うことについて、考えを出し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 <p>2 2 学校生活の中から、議題を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たにしてみたいことや解決したい身近な課題を見つけて、ノートに書く。 ・書いた課題を基にクラスで一つの課題を選び、議題を決める。 <p>3 3 自分の立場を明らかにするために、考えを書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P138「自分の考えを明らかにするとき」を参考にする。 ・議題についての自分の意見を付箋等へ書き出して整理しておく。 <p>4 4 話し合いのしかたを全体で確認して、進行計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P138「進め方の例」を参考にする。 ・グループごとに司会や記録などの役割や、時間配分等を決める。 <p>5 話し合いのときに気をつけることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えを広げる話し合い」「考えをまとめる話し合い」それぞれについて、よりよい意見の伝え方や質問のしかた、意見のまとめ方などを確かめる。 ・P142「意見が対立したときには」を読み、意見が対立したときの伝え合い方について知る。 <p>6 計画に沿って、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をいかして話し合う。 ・各自の考えを書いた付箋を利用して、それぞれの考えを整理する。P140「ふせんを使って整理する例」を参考にする。 <p>7 話し合った結果をクラス全体へ報告し、感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中でよかったところを伝え合い、話し合いのよりよい進め方として確かめ合う。 <p>8 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。(1)オ) ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ) <p>【態】粘り強く互いの立場や意図を明確にしながら、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。</p>
11月	<p>浦島太郎——「御伽草子」より</p> <p>1時間(知・技①)</p> <p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・</p>	1	<p>1 P144-145 を読み、「浦島太郎」の結末について知ることを発表し合う。</p> <p>2 二次元コードを活用して古典の文章の朗読を聞いたのち、繰り返し音読する。</p> <p>3 「知っている話と違う」「今の自分たちにも、気持ち分かる」などの視点で考えをもち、友達と話</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	<p>を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書く。</p>		<p>る。</p> <p>3 書いた文を見せ合って紹介し合うとともに、示された漢字を確認する。</p> <p>・クラスやグループで都道府県すごろくを完成させ、遊んで楽しむ中で、漢字に親しむ。</p>	<p>【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
12月	伝記を読み、自分の生き方について考えよう			
	<p>やなせたかし——アンパンマンの勇氣 5時間(読⑤)</p> <p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。</p> <p>☆自分の郷土に目を向けさせる題材(総合的な学習の時間)</p> <p>☆伝記の選書(図書館活用)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・P171を見て、やなせたかしについて、知っていることを出し合う。</p> <p>・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習の見通しをもつ。</p> <p>・P181「この本、読もう」も参考にしながら、興味のある伝記を選ぶ。</p> <p>2 伝記に取り上げられている出来事確かめる。</p> <p>・P182「伝記の表現」から、特色を知る。</p> <p>3 それぞれの出来事で「たかし」がしたことや考えたこと、人生における意味を確かめる。</p> <p>3 考え方に着目して、「たかし」の人物像をまとめる。</p> <p>4 「たかし」の行動や考え方について、自分の考えを書く。</p> <p>5 選んで読んだ本(伝記)について、考えたことを200字程度で書く。</p> <p>6 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」で身につけた力を押さえる。</p>	<p>【知・技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p> <p>【態】積極的に文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。</p>
12月	意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう			
	<p>あなたは、どう考える 6時間(書⑥)</p> <p>◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ)</p> <p>○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)</p> <p>○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>■意見文を書く。</p> <p>☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間)</p> <p>☆意見や理由とその根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間)</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・他の人の意見を読んで共感したり、意見をもったりした経験について発表する。</p> <p>・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 自分の関心のあることから題材を決め、主張を考える。</p> <p>・P187の作例を読み、よいところを見つける。</p> <p>・P185の投書の例や「題材の例」を参考にして、題材を集めて、その中から決める。</p> <p>・P185「主張をはっきりさせるには」を参考に主張の理由や根拠を書き出す。</p> <p>3 自分の考えを見直したり、グループで見せ合ったりして、他の立場から自分の考えを見直す。</p> <p>・主張や理由、根拠について、説得力があると感じたところや補ったほうがよいところを友達と伝え合う。</p> <p>・友達意見を参考にして、自分の主張に対する反論を予想する。</p> <p>・必要に応じて、実際にあった出来事を思い出したり、図書館やインターネットで情報を調べたりする。</p> <p>4 文章の構成を考える。</p> <p>・P186の倉田さんの例を参考に、集めた情報から、どれをどの順番で取り上げるかを決める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>・「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)</p> <p>【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章の構成を考える活動（ICT活用）	6	<ul style="list-style-type: none"> ・P186「学びをいかそう」を参考にして、説得力を意識した文章構成になるように確かめる。 5 構成を基に、意見文を書く。 ・P187「考えを表す言葉」を参考にする。 6 書いた文章を読み返して、文章を推敲する。 7 意見文を読んで感想を伝え合い、文章のよさを見つける。 ・P188の感想の例や質問の例を参考にする。 ・P188「感想や質問を伝え合うときは」を参考にして、質問や感想で意見文のよさを引き出したり、気づいたりできるようにする。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。 	
12月	冬の朝 1時間（書①） ◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（知・技(3)ア） ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。（知・技(1)オ） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ■冬らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	1	1 「枕草子」を音読して、言葉の響きやリズムを味わい、感じたことを伝え合う。 2 「枕草子」やP191の冬に関わる言葉、俳句を参考にして、冬らしいものや様子を文章に書く。 3 書いたものを交流して、感想を伝え合う。 4 学習を振り返る。 ・自分が書いた「春夏秋冬らしいものや様子」を見直して、振り返ることができることさらによ	【知・技】 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。（(1)オ） ・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア） 【態】 積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。
1月	好きな詩のよさを伝えよう 2時間（書①、読①） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。（思・判・表B(1)ア） ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ■詩を紹介する文章を書く。 ☆詩集を読む活動（図書館利用）	1 2	1 教科書にある詩を繰り返し音読し、好きなところや気づいたことなどについて、ノートに書く。 2 それぞれの詩の工夫を確かめる。 ・「言葉に着目しよう」を参考に考え、伝え合う。 3 教科書にある詩からお気に入りの詩を選び、どこがいいのかをまとめて書く。 4 好きな詩を紹介するカードを書く。 ・これまでに読んだ詩や詩集などからお気に入りの詩を選び、表現のよさを考える。 5 カードを基にして詩を紹介し合う。 6 学習を振り返る。 ・「この本、読もう」で読書の幅を広げる。	【知・技】 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。（B(1)ア） ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。（C(1)カ） 【態】 積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。
1月	言葉でスケッチ 2時間（書②） ◎目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ■情景が伝わるように書く。	1 2	1 メモの書き方をつかむ。 ・P194「観点にそってメモに書き出そう。」を参考にする。 ・教材にある子どもの写真を基に、観点を作ってメモを作成する。 ・メモを作成して、観点に沿って整理する。 2 P195「例」のよいところを見つけて、情景が伝わってくる表現の工夫のしかたを確かめる。 3 自分が選んだ写真を、言葉で表現する。 4 完成した文章を読み合い、よいところを伝え合う。 5 学習を振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さ	【知・技】 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） 【思・判・表】 「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） 【態】 粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
		5	6 物語を清書する。 ・P220「学びをいかそう」を参考にして、表現を工夫する。 ・推敲して、仕上げる。	
		6	7 読み合って、感想を伝え合う。 8 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
2月 ～ 3月	事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう 「子ども未来科」で何をする 6時間（話・聞⑥） ◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。（知・技(1)イ） ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考慮することができる。（思・判・表A(1)イ） ○文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。（知・技(1)カ） ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■提案するスピーチを行う。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動（社会、総合的な学習の時間） ☆意見や理由と根拠を説明する活動（社会、総合的な学習の時間） ☆練習時のスピーチの録音・録画（ICT活用）	1	1 学習の見通しをもつ。 ・自分が学んでみたいことを考え、発表し合う。 ・「問いをもとう」「目標」を基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。（(1)イ） ・文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。（(1)カ） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。（A(1)ウ） 【態】 粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。
		2	2 P225「山下さんのスピーチ」を参考に、「何を」「どのように」に伝えるスピーチなのかの見通しをもつ。 3 考えてみたいテーマを決める。 ・どんな課題があるかを想起して、自分が考えたテーマを決める。 ・課題にしようとしているテーマについて、グループで情報交換する。	
		3	4 テーマから課題を考え、情報を集める。 ・自分が決めたテーマについての課題を挙げて、「子ども未来科」で調べようなことを考える。 ・P223「情報を集めるときは」を参考に、説得力を上げるための情報を集める。	
		4	5 スピーチの構成を考える。 ・内容や話す順序を考え、スピーチメモを作る。 ・提示する資料を作る。 ・P224「構成を考えるとときは」「資料を作るときは」を読んで、参考にする。	
		5	6 スピーチメモを基にして、練習をする。 ・P225「山下さんのスピーチ」や二次元コードを参考に、効果的な言葉の選び方や話し方、資料の示し方などを工夫する。	
		6	7 スピーチをする。 ・動画に撮っておき、見返す。 8 感想を伝え合う。 ・話の構成、話し方の両面から、友達のスピーチのよかったところを伝え合う。 9 学習を振り返る。 ・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。	
3月	登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみりよくを伝え合おう 大造じいさんとガン 6時間（読⑥） ◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。（思・判・表C(1)カ） ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。（知・技(1)ク） ○文章を音読したり朗読したりすることができる。（知・技(1)ケ） ○人物像や物語などの全体像を具体的	1	1 学習の見通しをもつ。 ・P227を見て、物語の内容を想像する。 ・教材文を読み、「問いをもとう」「目標」を基に学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【知・技】 ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。（(1)ク） ・文章を音読したり朗読したりしている。（(1)ケ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりにしている。（C(1)エ）
		2	2 「残雪」に対する「大造じいさん」の心情と、その変化に着目して、物語の内容を捉える。	
		3	・P246「言葉に着目しよう」を参考に、「大造じいさん」の心情を表す情景描写の効果について考える。 3 物語の山場について考える。	

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	主な学習活動	評価規準
	<p>に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>■物語の魅力伝える文章を書く。</p> <p>■物語の魅力が表れているところを朗読する。</p>	4 5 6	<p>・「大造じいさん」の心情が大きく変わるところを探す。</p> <p>4 読み深める観点を選んで、物語の魅力を見つけて自分の言葉でまとめる。</p> <p>・P247「選んで読み深めよう」を参考にする。</p> <p>・観点が同じ人どうしや違う人どうしで考えを伝え合い、考えを深める。</p> <p>5 物語の魅力とそう考える理由をまとめる。</p> <p>・物語の魅力がよく表れている場面や文を選んで、そう思う理由を書き表す。</p> <p>6 選んだ場面や文を朗読で表現する。</p> <p>・物語の魅力について書いた文章や朗読について、グループで紹介し合い、考えを比べる。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身につけた力を押さえる。</p> <p>・「この本、読もう」で読書への意欲をもつ。</p>	<p>・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p> <p>【態】積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力を伝え合おうとしている。</p>
3月	<p>漢字の広場⑥</p> <p>1時間(書①)</p> <p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、出来事を報道する文を書く。</p>	1	<p>1 P249に提示された言葉を使いながら、新聞記者になったつもりで、出来事を報道する文章を書く。</p> <p>2 書いた文章を読み返すなどして、構成などを考える。</p> <p>3 書いた文章を見せ合い、交流するとともに、示された漢字を確認する。</p>	<p>【知・技】第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【態】進んで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
3月	<p>五年生をふり返って</p> <p>1時間(書①)</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。</p>	1	<p>1 1年間の国語学習を振り返る。</p> <p>・P252『「たいせつ」のまとめ』を読んで、領域ごとに自分が大切だと思ったことを書き加える。</p> <p>・学習で使ったノートやワークシートなどを見返して、それぞれの単元、時間で学んだことを想起する。</p> <p>2 「自分自身について言葉の力」と「その力のいかし方」について、自分の考えをまとめて書く。</p> <p>3 書いた考えを友達と紹介し合う。</p>	<p>【知・技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。(B(1)ア)</p> <p>【態】進んで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。</p>